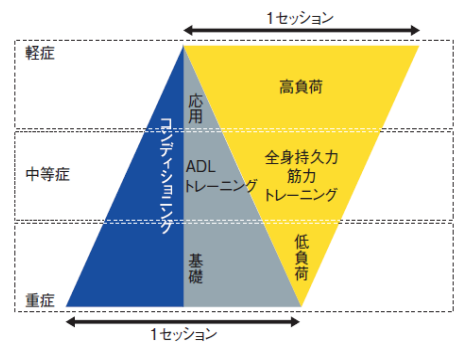


遠州病院呼吸リハビリテーション

1. 呼吸器リハビリテーション

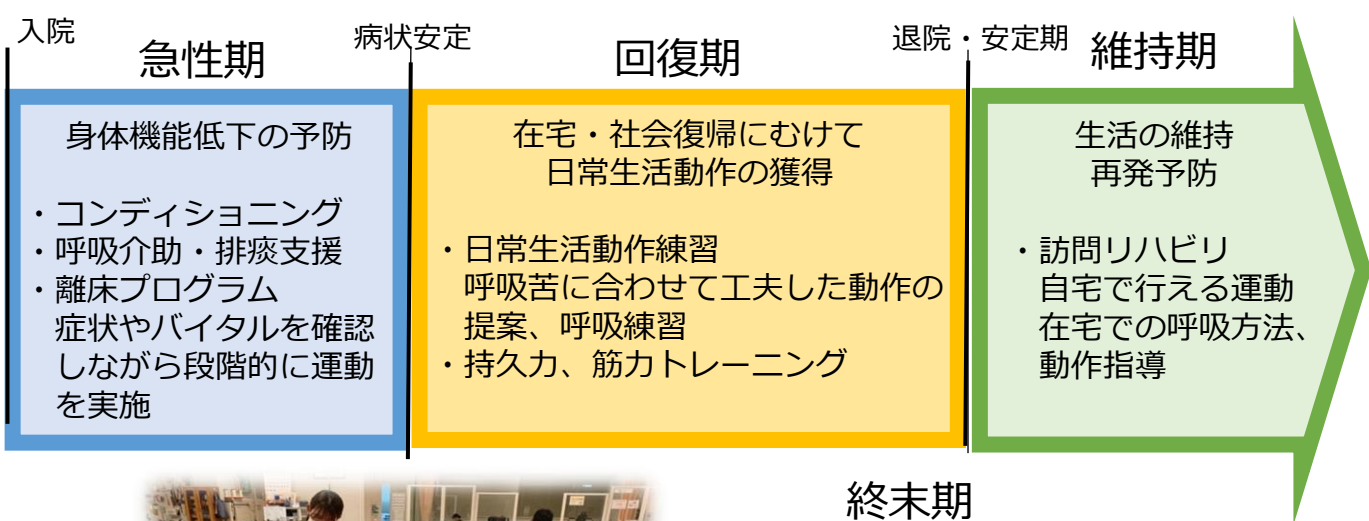
呼吸器障害を持つ患者さんは労作時の息切れが出現し、活動性低下へ繋がります。活動量が減少することで、食欲が低下し、体重・筋力低下へと繋がり、さらに息切れ・活動性低下を増幅するという悪循環へと至ります。この悪循環を断ち切るために呼吸器リハビリテーションが有効となります。

呼吸器リハビリテーションとは、呼吸器に関連した病気をもつ患者さんが可能な限り疾患の進行を予防、あるいは健康状態を回復・維持するために、医療者と共同的なパートナーシップのもとに疾患を自身で管理し自立できるよう生涯にわたり継続して支援するための個別化された包括的介入です。様々な評価に基づきコンディショニングを併用した運動療法を中心として、日常生活動作の練習やセルフマネジメント教育等を含む個別化プログラムを作成、実施していきます。



2. 対象と治療の流れ

対象疾患 ・肺炎 ・慢性閉塞性肺疾患 ・間質性肺炎 ・術後呼吸器合併症
・呼吸機能の低下を認める神経や筋肉の病気 など



終末期

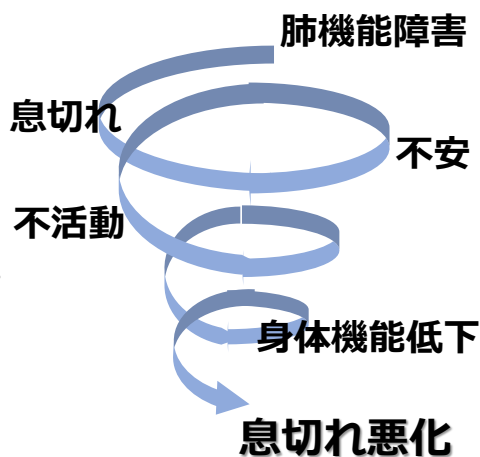
痛みや呼吸苦の軽減

- ・コンディショニング
- ・呼吸介助・排痰支援
- ・褥瘡予防のためポジショニング

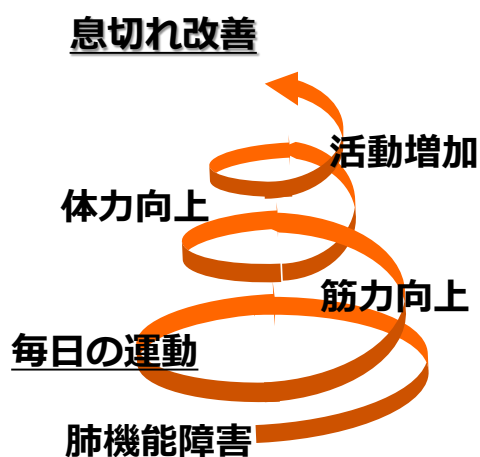
リハ介入による効果

- ・呼吸困難の軽減
- ・持久力の改善
- ・生活の質の改善
- ・不安・抑うつ改善
- ・下肢疲労感の改善
- ・筋力の向上
- ・社会生活の満足度向上など

息切れの悪循環



運動の継続効果



3. 体外式陽陰圧人工呼吸器（RTX）

挿管（気道確保のためのチューブ挿入）や気管切開をすることなく、生理的な呼吸様式に近い換気方法での人工呼吸器です。



RTXによる効果

①呼吸リハビリ効果

- ・腹式（横隔膜式）呼吸を補助。
- ・呼吸筋のリハビリと胸郭の可動域改善。

②無気肺（肺に空気が入らない状態）の改善

- ・継続利用により分泌物の排出を促進。

③排痰（痰を出す）サポート

- ・痰が体の中に残っていると肺炎を再発したり、気道を狭くして呼吸困難を感じます。
- ・ご自身で痰が出せない方のサポートをします。

